

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教職実践演習(小)	演習	1	齋藤 尚志
【授業のテーマ及び到達目標】 教員として最低限必要な資質・能力について、次の4項目を確認する。 ①教育に対する使命感や責任感を持ち、子どもに対する愛情が豊かであること。 ②社会性や対人関係、コミュニケーション能力が適切であること。 ③児童理解や学級経営等に関する必要な能力の基礎を身につけていること。 ④教科等の指導力の基礎を形成していること。			
【授業の概要】 教職課程修了時において、各自が教員として必要な基礎的な資質・能力の点から長所・課題を確認し、各自の調査や受講生間の相互交流を通してこれまでの学修をふりかえり、まとめる。			
【全体の授業計画・内容】			
1. オリエンテーション(カルテの記入と振り返り・課題発見と省察)			
2. 受講生各自の省察の発表会と課題設定			
3. 課題探究のすすめ方 ー調査・文献読解などー			
4. 課題探究の計画			
5. 現代教育の課題① ー子どもの社会的排除ー			
6. 現代教育の課題② ー学力・能力とはなにかー			
7. 現代教育の課題③ ー外国の教育との比較ー			
8. 課題の再確認と相互交流			
9. 現代教育の課題④ ー地域とともにある学校ー			
10. 現代教育の課題⑤ ー教員の「働き方改革」ー			
11. 課題探究の实地調査			
12. 課題探究の文献調査			
13. 实地調査の相互報告			
14. 文献調査の相互報告			
15. 調査報告書による最終発表会			
【準備学習の内容】 予習のあり方:教育実習を振り返り、自身の課題についての情報を新聞やニュース等で収集すること。 学習のあり方:課題によっては文献読解、現地調査などアクティブな活動を伴う。 復習のあり方:講義や相互交流等を振り返り、自身の課題を明確にし、課題解決のための活動を行うこと。			
【成績評価】 教職履修カルテによる省察(10%)、文献調査・实地調査(30%)、発表会における貢献(10%)、調査報告書(50%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 最終授業で全体に対してフィードバックを行う。			
【テキスト】 レジュメおよび資料を用いて行う。			
【参考文献】 適宜指示する。			